



繪
 曾呂利快談話
 上

13
 1873



南宮里にあ

人乃の成融なりやうのあとしとあがなりなぞくは

たもてしとま縁ま縁義富乃汝りひわるとらんは海を

ぬるとあさびる又多し一きや以上がむらり下

が志もまを障さやうされぬのしあらんり物さく変をね

れまうせうらりるさむよあくはたり一室むむ天正の治

りひそつらとどろ雑雑乃上ふわりの天樹てんじゆ秀右しゆゑ

白しろとて帯おびににまはまはははししああすす同乃あらしににあ

局しよありしとあ奇あきれ回まわりり天口乃舟ふね晋しんの樂らく願ねんが林りん

藪乃よもぎ何なにれもあししらりらり海うみににままささりりとらん

トてとは月つきおんぬぬ鬼き神しんをを速はやかああははりりそそらりら

トてとは月つきおんぬぬ鬼き神しんをを速はやかああははりりそそらりら



けしつらそとちく 軽よ何そんれなるりやと後どれにひ
 さ武士とよもしくと潤りつゝその女香枝葉んま
 名譽さうらゐのい壺中に天飛とあめ 蹴撃うらり 駒を
 せせし 湖あもとをださうあ家庭大樹乃まゝみ
 おどろくししとさるりとわさささるあふに十はく十
 おとまづりまをぬれんともと書さあしに年記さか
 ぬ故よ海づりるちあつららさうせぬい何りお妹の
 とふゆりさうりともわしとさあはあぐえらわつら
 悔しなる我神のいあさのさうさう今中さ書わ
 るひらものだ

曾呂段物語巻第一目録

- 一
- 二
- 三
- 四
- 五
- 六
- 七
- 八
- 九
- 十

板垣乃ら部もる夜乃事
 女のまゝ神んまゝいあつらさ
 女なまゝぬん中けつらつてもいさぬ
 一糸もむら橋のをけ抱乃申事
 かけもの女よぬく人と海らつら
 人としさひさひさ身にびら事
 飛つたもの今特らると葉あはれ
 瓶人よひらひてまびとす事
 ああし大蛇とあつら家
 瓶とたごしてやがてあつら事

三 女のまゝ新入の機屋へてとよひぬる
 年ころとよひの機屋のまゝのうらぐらぐらひん一人
 女よたらうとてててててててててててててててててて
 強はくくとあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
 ありそとけうと人かとうけあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ
 ちんととととととととととととととととととととととと
 ちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちんちん
 しそをををををををををををををををををををををを
 らひゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆりゆり
 らひひひひひひひひひひひひひひひひひひひひひひひひ
 めととととととととととととととととととととととととと
 よあたらけりうの女親とととととととととととととととと
 とつひとつひとつひとつひとつひとつひとつひとつひとつひ
 つひとつひとつひとつひとつひとつひとつひとつひとつひ



新入の機屋へてとよひぬる

面んおまおとつお女さうしんきりらつてふらぬお
 ち後傍の秘ちんよつらぬおけおひどりぞんト
 のりるぬぬの坊の女乃さうさうとつひん
 うらむとぬぬあつてさうさうとつひん
 のひらつらぬ傍の女さうさうとつひん
 のちのぬぬとつひんさうさうとつひん
 してさうさうとつひんさうさうとつひん
 ありのぬぬとつひんさうさうとつひん
 さげ二丈さうさうとつひんさうさうとつひん
 らら大おんとつひんさうさうとつひん
 おおとつひんさうさうとつひん
 さうさうとつひんさうさうとつひん
 さいとつひんさうさうとつひん
 さいとつひんさうさうとつひん
 さいとつひんさうさうとつひん
 さいとつひんさうさうとつひん



一条のりらつてふらぬお

四

藍池乃其のまきりひもほろりありあるまのこも
 ありまきそのはせくろれものよあひくほかに
 うひしてゆりしはゆるりけいあて今に下巻
 とほららひしはゆるりけいあて今に下巻
 とけちんそひあつ木の樹のりらにぎい
 うらりくあつあつたよあつとくわはるもぬも
 けりけりあつたよあつとくわはるもぬも
 まらりあつとくわはるもぬもぬもぬも
 けりあつとくわはるもぬもぬもぬも
 ぎいあつとくわはるもぬもぬもぬも
 とくわはるもぬもぬもぬもぬもぬも
 ひのけりあつとくわはるもぬもぬもぬも
 んまけりあつとくわはるもぬもぬもぬも
 んまけりあつとくわはるもぬもぬもぬも

又 だけあめあつとくわはるもぬもぬも
 あつとくわはるもぬもぬもぬもぬも

ろわいんから板敷のけいんのととあえられぬ三層ぐら
 けくゆゑまじふ少はけいんをたふさる思あゑる中
 けの女もとうげしとあえらけり目殺されけりま
 事死人のとうげしとあえらけり目殺されけりま
 のあゑる女もとうげしとあえらけり目殺されけりま

六

神乃面之坂は鳥居の石段とやわりのあゑるまげらとあゑ
 けりしとあゑしつとけり女死あゑしつとあゑるま
 けりしとあゑしつとけり女死あゑしつとあゑるま
 けりしとあゑしつとけり女死あゑしつとあゑるま
 けりしとあゑしつとけり女死あゑしつとあゑるま
 けりしとあゑしつとけり女死あゑしつとあゑるま



ひととちがふむとち

乃ういひおほふあまのけりしとて海くしめし
海も今秋婦しきり家とつらからはく半づらふ
のらとて海あまのひらかぬあつたはるは
いひめひらとありてまんよそとてあひ
しつものさらのたかひあわぬとていひあ
にさつつけつらとて

九

新選大蛇と海つらなふ

月のはあつたらん瀬海の水に新選とてらふあ
るともしつららば知りあふとて海つらなふ
池のふちあつたらん海つらなふとて海つらなふ
あつたらぬとて海つらなふとて海つらなふ
あつたらぬとて海つらなふとて海つらなふ
あつたらぬとて海つらなふとて海つらなふ
あつたらぬとて海つらなふとて海つらなふ
あつたらぬとて海つらなふとて海つらなふ



新選大蛇と海つらなふ

